

# マルチシャーシNCS4KでのHW VoQプログラミングの確認

## 内容

[概要](#)

[手順](#)

[リカバリ方法](#)

## 概要

このドキュメントでは、マルチシャーシNCS4Kでハードウェア(HW)Virtual Output Queueing(VoQ)プログラミングを確認する手順について説明します。

## 手順

これは、NCS4KノードでHW VoQプログラミングを確認するための段階的なアプローチです。

6.5.26リリースのマルチシャーシノードは、[Cisco Bug ID CSCvz41459](#)の影響を受ける可能性があります。この場合、VoQは入カラインカード(LC)仮想マシン(TM)上で誤ってプログラムされています。

ステップ 1: 最初に、入カインターフェイスと出カインターフェイスのトラフィックフローを確認する必要があります。

この例では、入カインターフェイスは TenGigE1/3/0/0/1.4001 (ラック1)、および出カインターフェイスはHu0/9/0/11/2.4001 (ラック0)です。したがって、入カインターフェイスと出カインターフェイスは異なるラック上にあり、分散不具合トラッキングシステム(DDTS)[Cisco Bug ID CSCvz41459](#)の影響を受ける可能性があります

たとえば、tunnel 117を参照してください。

```
#show mpls forwarding tunnels 117 Wed Nov 9 13:15:47.159 UTC Tunnel Outgoing Outgoing Next Hop
Bytes Name Label Interface Switched -----
----- tt117 24764 Hu0/9/0/11/2.4001 172.16.13.170 0
```

ステップ 2: ラック0とラック1のアクティブなLC VMを確認します。

```
#show redundancy summary Wed Nov 9 13:16:59.309 UTC Active Node Standby Node -----
----- 1/LC0 1/LC1 (Node Ready, NSR:Not Configured) 0/RP1 1/RP0 (Node Ready, NSR:Ready) 0/RP0
1/RP1 (Node Ready, NSR:Not Configured) 0/LC0 0/LC1 (Node Ready, NSR:Not Configured)
```

この例では、0/LC0はラック0のアクティブなVMであり、1/LC0はラック1にあります。

ステップ 3: 次のステップとして、出力LC VMの出カインターフェイスのSysPort番号を確認します。

```
#show controllers npu voq-usage interface HundredGigE 0/9/0/11/2.4001 instance all location
```

```
0/lc0 Wed Nov 9 13:16:45.149 UTC -----
---- Node ID: 0/LC0 Intf Intf NPU NPU PP Sys VOQ Flow VOQ Port name handle # core Port Port base
base port speed (hex) type -----
- Hu0/9/0/11/2.4001 8000bd4 18 1 448 24655 1336 5152 local 100G Hu0/9/0/11/2.4001 8000bd4 0 0 0
24655 1144 0 remote 0M
```

この場合、SysPortは24655で、VoQベースは1336です。

ステップ 4：入力ラインカードと入力VMで同じSysPortをチェックします。

コマンドは、次のとおりです。

```
show controllers fia diagshell <ingress Line card number> "dump IRR_DESTINATION_TABLE
<SysPort>" location <ingress LC VM>
```

以下に、いくつかの例を示します。

```
#show controllers fia diagshell 3 "dump IRR_DESTINATION_TABLE 24655" location 1/lc0 Wed Nov 9
13:18:00.684 UTC Node ID: 1/LC0 IRR_DESTINATION_TABLE.IRR0[24655]:
```

この例では、QUEUE\_NUMBERは16進数で0x538であり、前の出力からのVoQベース1336(dec)に一致します。

[Cisco Bug ID CSCvz41459](#) queue\_NUMBERは0x1ffffです。

以下に、いくつかの例を示します。

```
#show controllers fia diagshell 3 "dump IRR_DESTINATION_TABLE 24655" location 1/LC0 Wed Nov 9
12:44:54.270 UTC Node ID: 1/LC0 IRR_DESTINATION_TABLE.IRR0[24655]:
```

## リカバリ方法

この問題の回復方法は、影響を受ける出力サブインターフェイスを削除し、再度適用することです。

また、逆方向の流路も必ず確認してください。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。